

おやこふらっとひろば 北（愛称 にじっこ）実践報告 ～地域に必要とされる子育て支援を目指して～

久保木 亮 子

Oyako Furatto Hiroba Kita (nicknamed Nijikko) practical report

～Aiming to child care support needed in the community～

Ryoko KUBOKI

はじめに

令和2年4月、神戸市北区役所5階に神戸親和女子大学運営の「おやこふらっとひろば 北」（愛称「にじっこ」）が開設されました。しかし、コロナ禍のため2か月遅れの6月オープンになりました。（以下、「にじっこ」と記載）

「にじっこ」の目的は、子育て親子の支援を中心にしながら、子育てサークルやNPO法人、行政機関など、地域の様々な団体・機関と積極的に連携した事業を実施するなど、地域団体の参画と連携のもと、外部に開かれた場所にしていくことです。

未就園児（0～6歳）の親子が、ふらっと立ち寄り、安心して遊んだり、絵本を読んだり、ママ同士が子育てについて話し合ったり、子育てにおける悩みについて、「にじっこ」保育士（以下、スタッフと掲載）に気軽に相談できる、安心で居心地の良い場所を目指しています。

キーワード：子育て支援、連携、安心安全、質の向上

1. 「にじっこ」が掲げるコンセプト

- ①「親子が安心して過ごせる落ち着いた空間を提供する」
「やすらぐ」空間・居心地の良い場所が親子の時間を豊かにする
- ②「絵本で子育てを支援する」
「読みたい」絵本、読書に誘う力を持つ絵本を子どもたちに届ける
- ③「興味・関心に即した玩具等に出会い、心身が満たされて遊ぶ場を提供する」（9/1追加）
「厳選された玩具」を使って親子で遊ぶ楽しさが味わえる

2. 「にじっこ」の独自性

- *「絵本を活用した事業の実施」
→絵本の良さについての情報提供、読み聞かせ、わらべうたのイベントの実施
- *「子育てや子育て支援に関する情報の提供」
→保育・幼児教育の専門的知見からアドバイスが可能
- *「子育てに関する相談・援助対応」

→保育・幼児教育に加え、心理学の知見から対応可能

* 「良質な絵本の選定」

→専門的知見を活かした選書（本学 総合文化学科 笹倉剛教授 監修）

3. ストロング・ポイント①

* 大学の有する専門性を活かす

→子育てに関する情報の提供

子育て支援ひろば「すくすく」、心理・教育相談室

総合文化学科、児童教育学科、心理学科

ジュニアスポーツ教育学科、福祉臨床学科、スポーツセンター、図書館など

ストロング・ポイント②

* 運営における学生の参加

→保育職・教育職・福祉職などをを目指す学生

保育・教育領域に知識

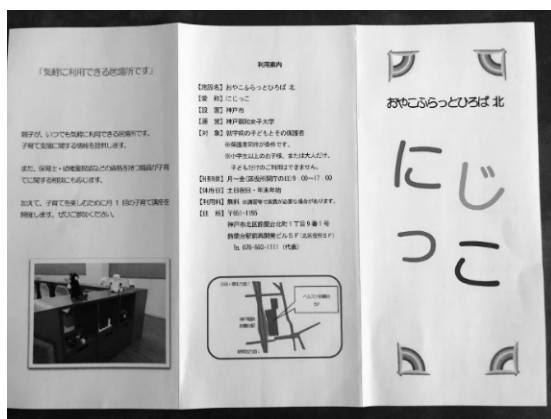
心理領域、司書領域の知識などを持ち合わせた良さ

北区の将来を担う若年層へのアピールも可能

設置者の想い

* 神戸市北区にある高等教育機関として、私たちが有する資源を活かし、北区の子育て支援事業の一端を担うことで、地域への貢献を一層進めていきたいと考えています。

“にじっこ”パンフレット（配布用）



「にじっこ」開設に当たり

オープンが2か月遅れるにあたり、その期間を利用してスタッフの研修を行いました。

子育て支援の理解とスタッフ一人一人の質の向上を目指し、専門職としての知識・技術・判断力を身につけていくことを目的としました。

4月（在宅学習）

1. わらべうたについて学ぶ（愛着関係の形成について・実技） 配布レシピ作り 240分
2. スタッフ名札作り（布製） 120分
3. 季節別手遊びなどの計画書及び練習 240分
4. エプロンシアターの練習 60分
5. ペープサート作成（分担作業） 120分
6. パネルシアター作成（分担作業） 120分
7. 保育相談支援（子育て支援）の理解と演習 レポート800字 120分
8. ヒヤリハット（リスクマネジメント）の理解 120分
* リスク・コミュニケーションの7原則について レポート800字
9. 感染症と応急手当について 60分
10. 関係機関との連携について レポート800字 120分
11. 本ひろば「にじっこ」の課題について 800字 120分
12. マスク作り 180分

計1,620分

* No.1.7.8.9の学びについては資料配布

提出レポートはプリントアウトし学びを共有する。

5月（在宅学習及び勤務内容）

20日（水）10：00～13：00（出勤）

* 乳児用玩具作り：紐通し、ボタン落とし 等

* パネルシアター作り

27日（水）10：00～13：00（出勤）

* 利用者の子育て相談・対応演習（ロールプレー）

* 遊びの実技体験

・絵本の読み聞かせ・わらべうた・エプロンシアター・パネルシアター 等

* パソコン操作作業、受付対応など

* スタッフラインにより、20日、27日の勤務内容を事前に連絡しておく

* 6月オープン、事前打ち合わせ

<わらべうたについて学びあう>

わらべうたの起こり、地域性、季節感、乳児向き、幼児向き
音程、速度 等

わらべうたから育まれる親子の愛着関係の形成について

わらべうたの重要性を利用者に伝え、各家庭でも継続して遊べるようになるために全スタッフが理解し、自信をもって利用者に提供できるように実技指導を行う。

<実技研修>

～乳児向き～

おすわりやす ・ととけっこー（絵本）より

じーじーばー

にぎりぱっちり

いちりにりさんり

～幼児向き～

おちゃをのみにきてください

<練習風景>

スタッフが、利用者親子がいることを想定してわらべうたあそびを行う。

わらべうたあそびへの導入の仕方を話し合う。

わらべうたあそびは、わらべうたあそび経験者が初めて経験するスタッフに伝える等、協働する姿がみられました。

「わらべうたの音域は3度くらい。淡々と語りかけるように歌ってくださいね」

「テンポは脈拍の速さでね。鼓動を感じながら・・・」

「わあ～、難しい」「大丈夫、大丈夫。その調子でね！」

（にぎり ぱっちり）



（おすわりやす）



<おやこふらっとひろば 視察>

2020.7.17

2020年度、神戸市の5区役所において子育て支援事業として「おやこふらっとひろば」が開設されました。(兵庫区のみ2019年度 8月開設、西区は2021年度 開設予定)そこで、開設から1か月が経過し、他の「ひろば」の運営状況、レイアウトや情報共有、今後の連携等を図るために、「ひろば」訪問(視察)を計画しました。ここに、「ひろば」視察の報告を致します。

須磨区役所 2F おやこふらっとひろば須磨
社会福祉法人 豊友会法人 対象:就学前の乳幼児親子

絵本コーナー



大型遊具コーナー



イートインコーナーお弁当タイム(10:00~13:00)



受付付近



離乳食作りなど、講習の場として使用予定



* 離乳食作りなど講習会を開く予定
現在は閉鎖中

長田区役所 4F およこふらっとひろば ながた
株式会社 P L A S T 対象：就学前の乳幼児親子

自然の中にいる感じ



畳の縁はアフリカの生地使用



オムツ交換、授乳スペース（別室）



- * 理学療法士、作業療法士、看護師、保保育士などの専門職で対応
- * 保育園、重症心身障害児デイサービス、小児訪問看護なども行っている
- * 地域性（多文化）を活かした環境構成

兵庫区役所 6F およこふらっとひろば 2019年8月 オープン
兵庫区社会福祉協議会 対象：0～2歳の親子

児童館・子育てマップ紹介



ままごとコーナー



東灘区役所 5F およこふらっとひろば 東灘
NPO法人子育てネットワークあい 対象：0～2歳の親子

玩具コーナー



玩具・絵本コーナー



親子で作ろうコーナー



- * 利用時間 10：00～11：30
12：30～14：00
15：00～16：30
各回5組（先着順）
- * ひろばの前に子ども家庭支援課あり

灘区役所 6F およこふらっとひろば 灘
特定非営利活動法人S-space 対象：妊婦、0～2歳親子

絵本コーナー



体を使って



- * 電話予約優先 前日までに
2回目以降、当日の予約のみ可
- * 7/1～22（各定員6組）
10：00～11：30 12：30～14：00
15：00～16：30
- * 7/27～8/31（各定員6組）
9：30～10：30 11：00～12：00
12：30～13：30 14：00～15：00
15：30～16：30
- * すべての「ひろば」利用状況は
〈2020年7月現在の状況です〉

<視察を通して>

各「ひろば」は、アットホームな感じで居心地の良い環境でした。須磨区役所内の「ひろば」は、敷地面積も広く大型遊具の設置、相談室、授乳室、館内飲食コーナー等、充実しています。

長田区役所内の「ひろば」は、多文化の方が居住している地域です。個性的で「森に迷い込んだかな?」といった感じで発達障害のある子どもにとって、抵抗なく利用しやすい空間だと思われます。民族衣装や雑貨等がコーナー遊びの中に取り入れられているのも特徴です。

兵庫区役所内「ひろば」は、昨年8月から運営しています。乳幼児用のままごとコーナーがあり、保育所のコーナー遊びのような感じを受けました。

東灘区役所内の「ひろば」は、立地条件も良くJR住吉駅より徒歩3分です。「ひろば」開所が10時。予約制でなく先着順のため、利用者親子が「ひろば」前の椅子に座って開所を待っています。

灘区役所内の「ひろば」は、JR六甲駅から南へ徒歩5～6分、アーケード付きの道をアップダウンしながらの場所にあります。面積は「ひろば」の中で一番狭いが、アットホームな雰囲気にも包まれています。妊婦さんからの利用は真の子育て支援といえると思います。

「ひろば」の視察を行ったのがコロナ禍の7月でした。そのため、各「ひろば」の受け入れ体制はさまざまに工夫されています。コロナが終息に向かえば、また対応も変わってくるものと考えられます。

「にじっこ」の課題 ～「ひろば」の視察を終えて～

「ひろば」の視察を終えて、当「にじっこ」では、利用者を0～6歳と設定し、3歳以上の子ども対応の絵本、玩具が中心になっているため、利用されていないスペースがあります。実際の利用者は0～2歳が9割を占めています。利用状況から室内の有効利用（0～2歳の乳幼児が安心して過ごし、発達にあった玩具が必要）という思いに至りました。そのためには、室内のレイアウト変更、玩具の充実をしていきたいと思います。700冊の絵本は魅力的で「にじっこ」のコンセプトが「絵本で子育てを支援する」となっていますが、小さな子どもは絵本だけでは楽しく過ごすことは難しいと考えられます。そこで、「にじっこ」にコンセプト③を提案し、発達に即した玩具の補充、大きなレイアウト変更などを行い、魅力あるひろば「にじっこ」へと移行していきたいと思います。

「にじっこ」コンセプト③追加伺い

2020年8月22日

「おやこふらっとひろば 北「にじっこ」」のリニューアルについて

「にじっこ」がオープンして、3ヵ月が過ぎようとしています。コロナ禍での遅れたオープン、様々な制限の中で、なかなか思い描いた運営とはなっていませんが、6名のスタッフが協力し合い、工夫と努力をしながら対応を続けています。

オープン当初、幅広い年齢層（0歳児から就学前）の利用があると見込んでいましたが、ほぼ0歳児から2歳児の利用となっています。

そのため、オープンまでに用意していた玩具が、小さい子どもには難しいものが多く、十分に楽しめなかったり、お母さま方から、「小さい子どもが楽しめるおもちゃがあればいいですね…」等の声が多く寄せられました。

また、レイアウトが奥側を0歳児から2歳児向けにしたことから、楽しそうに遊んでいても、廊下側からはほとんど見えない状況になっており、前を通られた方には中の様子がわかりにくかったり、入口付近ががらんとした印象を持たれてしまうことにつながっています。オープンからの実績・経験・「ひろば」

視察を踏まえた結果、①小さい子ども用の玩具を増やす。②オクタゴンの配置を変更して、入口側は、0歳児を中心とした乳児用コーナー、奥側は、1～2歳児向けのコーナー（3歳児以上も対応可）として、ままごと遊びなどが楽しめる。親子でゆったりと絵本が読める。身体機能を促す遊具の配置をする。等、子どもの成長発達・興味関心や遊びの充実を考え、利用者親子にとって「魅力のあるひろば」にする。といった結論に達しました。

つきましては、①当初準備した玩具に、新たに小さい子ども用の玩具を購入する。②レイアウトを、0歳児用コーナーを入り口側、奥側に1～2歳児向けコーナー（3歳児以上対応可）に変更する。といったことを進めていきたいと考えています。

8月末で丸3ヵ月になりますので、このタイミングでリニューアルをして、9月から新装オープンとして再スタートを切りたいと考えています。

<リニューアル 9月1日からの「にじっこ」で遊ぶ親子の様子>

スウィング・ビーム（平衡感覚を養う）
「ママ、ついてきて～」



絵本コーナー
お気に入りの絵本に出会う



絵本タイム
おばあちゃんと一緒に



大型マグネット壁面
構成あそびを楽しむ



ママと絵本タイム（オクタゴンの中で）



「おとっとと〜。バランス、バランス」



ままごとコーナー
「一緒に遊びましょう〜」



乳児コーナー
「はじめまして」



「よして」「いいよ」



「パパも 仲間に入れて〜」



行事 <みんな あつまって〜>

7月～ 開催 毎月第3水曜日

10:15～11:00 14:15～15:00 内容は午前、午後同じ

親子でわらべうた遊び



絵本の読み聞かせ



エプロンシアター（おおきなかぶ）



7月当初は参加者も少なかったのですが、ひろばだよりや口コミで楽しい集いがあることが広まり参加者も徐々に増えてきました。毎回、スタッフが子どもの成長や発達・興味関心等を話し合いながら指導案を立て大型紙芝居、パネルシアター、歌あそび、わらべうたあそび、エプロンシアター、制作等を提供しています。

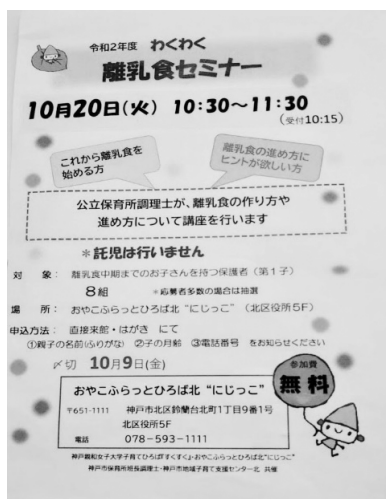
＊わくわく離乳食セミナー（第1回）

＊北区のホームページでの広報はコロナ終息後予定

共催：神戸市地域子育て支援センター北

神戸市保育所班長調理師

神戸親和女子大学子育てひろば「すくすく」・「おやこふらっとひろば 北」（にじっこ）



調理師の先生から離乳食のポイントを映像とお話を交えながら学ぶ



前方：離乳食開始直前のグループ

後方：離乳食中期のグループ

グループごとに調理師先生を囲んで質疑応答



<セミナー後のアンケート>

- ・身近に育児について尋ねる人がいなくて不安だったけれど周りの情報に踊らされず、我が子と向き合おう思った。
- ・参加してみてネットやその他の情報よりも子どものペースでいいということが伺えてよかった。
- ・今回の離乳食セミナーが一番わかりやすかった。離乳食頑張ります（ほどほどに）

兵庫高校創造科学科 <マイクラマップ帰宅にGO！>

取材日：11月9日（月）

北区の子育て関係の施設などを掲載する企画として、上記タイトルの取材がありました。

1年生6名（男子4名、女子2名）、引率教師1名、計7名が授業終了後の時間を利用して子育て支援の現状・「にじっこ」のコンセプトの説明や室内の各コーナー（絵本、ままごと、バランス遊び）、レイアウト等を見学しました。閉室前の見学だったので、利用者親子は1組。学生たちは利用者親子の様子を興味深く見ていました。また、学生たちも童心に返り各コーナーで楽しく遊ぶ姿が見られました。

「小さい時に読んだ絵本だ〜」 オクタゴンにて



「面白い玩具がいっぱいや！」



トンカチ、トントントン！！



<インタビュー内容>

- ・何歳位の子ども利用が多いですか？
- ・子どもの人気の遊びは何ですか？
- ・「ひろば」の活動内容を教えてください。
- ・1日、どれくらいの利用者ですか？
- ・どうして「ひろば」が作られたのですか？
- ・児童館との違いはありますか？ 等

次世代を担う高校生が、子育て支援に興味関心をもって情報を発信していくことの重要性を感じます。当「ひろば」が地域、行政、各種関係団体や学生等と連携して北区における子育て支援の拠点になりたいと考えています。

令和2年度 北区子育てネットワーク連絡会議

日時：11月12日（木）15：00～16：00

場所：北区役所5階 健診・教室スペース

（目的）地域における子育てを総合的に支援するために、子育てに関わる関係機関・団体が密接な連絡を図り、適切なサービスの提供および児童の健全育成の支援ができる体制を整備することを目的とする。

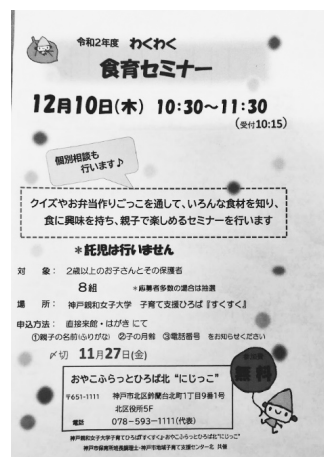
子育てに関わる27団体が今年度、第1回目の情報交換会を行ないました。市政報告として、神戸市保健所からの文書を下にコロナ禍の状況、対策、インフルエンザ流行期に向けた取り組みなどの説明が行われました。各団体の代表者の自己紹介を経て、6施設よりコロナ禍においての取り組みと運営上の工夫等の報告がされ、安心安全な運営法を共有しました。今後も年1回情報共有をしながら連携していくことを確認しました。連絡会議後、当ひろば「にじっこ」に多くの見学者が訪れ、施設の概要、運営コンセプトを伝える良い機会となりました。「にじっこ」の存在や知名度が上がってきていることを実感しました。

* 令和2年度 わくわく 食育セミナー（第2回）

共催：神戸親和女子大学子育てひろば「すくすく」・おやこふらっとひろば北「にじっこ」
神戸市保育所班長調理師
神戸市地域子育て支援センター北

対象：2歳児以上のお子さんとその保護者
8組

場所：神戸親和女子大学
子育て支援ひろば「すくすく」



第2回目の「わくわく セミナー」は2歳以上の7組の親子が参加しました。調理の先生から「野菜当てクイズ」（おおきなかぶ）バージョンのクイズや実際の野菜を触ったりしながら野菜の名前を知りました。知っている「野菜」が出てくると、「知ってる、知ってる」「ニンジンさ～ん」「大根さんだ～」「ピーマン、嫌い！」等と歓声を上げ楽しみました。調理の先生から保護者の方に、「野菜」の特有の匂いのやわらげ方や触感、歯ざわり、のど越しの良さ等を感じる調理法や食べた物で心と体が作られていくこと、食育の大切さ等を教えていただきました。その後、お弁当作りごっこ（フェルトのおにぎり、卵焼き、野菜等）では、親子で盛り付けをしながら、色とりどりのお弁当作りを楽しみました。バランスの摂れた食事の大切さを知る良い機会になりました。

< わくわく食育セミナー終了後のアンケート >

- ・ 野菜の調理の仕方が参考になった
- ・ 家でも食事に対する興味を持つように声をかけたい
- ・ 大人も子どもも楽しく野菜の勉強ができた
- ・ 相談させてもらえたので、ステップアップして頑張っていきたい 等

令和2年度 およこふらっとひろば 意見交換会（第1回）

日時：令和3年2月3日（水）16：00～17：30

場所：神戸市役所1号館 7階 大会議室

<内容>

1. 自己紹介・各ひろばの紹介

2. 意見交換会

- ① 実施してよかった行事、おすすめのプログラム
- ② 利用者との関わりについて（利用者が求めているものやそれに対する応え方）
- ③ 安全管理の工夫（けがなど）
- ④ その他

3. 事務連絡

以上の内容で第1回目の意見交換会が実施されました。すでに運営している6区、今後開設予定の3区、計9区が、対面及びZoom形式での会議になりました。

コロナ禍において、すべての「ひろば」が安全に留意しながら、「ひろば」の独自性や工夫、魅力ある取り組みを行い、子育て中の親子にとって利用しやすい場所であると発表されました。今後も、「ひろば」同士の情報交換、連携を図りながら神戸市の子育て支援の拠点となり、利用者の安心・安全な居場所になっていきたいと考えています。

おわりに

「にじっこ」が多くの利用者親子でにぎわい、活気のある地域の居場所となってきたのを感じます。コロナ禍の中においても、子育て中の親子は安心・安全な遊び場を求めています。スタッフは細心の注意を払いながら、「にじっこ」に行けば、「あの先生がいる」「あの親子がいる」「あの人と話してみよう」「あの人来てるかな～」また、区役所に用事があり待ち時間を「にじっこ」で過ごす、乳児健診後に立ち寄る等、利用目的は様々です。それらの皆様にまた行ってみたくなるような魅力ある「にじっこ」運営を行っています。

本学は、児童教育学科、心理学科、総合文化学科、ジュニアスポーツ教育学科、福祉臨床学科等を有する大学で保育職、教育職に就く学生が多くいます。そして、学生たちは保育・教育の現場で子育て支援の重要性を経験していくことになります。今後コロナ禍の状況を見ながら、学生が親子遊びのプログラムを立案して実践に取り組みながら、その中で思いが伝わらず戸惑ったり、悩んだり。また、反対に親子の笑顔から達成感を味わう等、保育、教育の学びの場として利用してほしいと願っています。そして、私たちスタッフも大学教員と連携して専門職としての学びを続けながら、質の向上を図り保育技術、相談支援の力を身につけ、利用者に提供していきたいと考えています。また、地域の子育て支援関係との連携を図りながら、地域に愛され必要とされる「にじっこ」を目指していきたいと考えています。

参考：およこふらっとひろば 北プレゼンテーション資料